

# わが校自慢

## 白岡中学校

白岡中学校は、昨年度埼玉県の中高生奉仕・体験活動推進事業「なかなかやるな中学生」の委嘱を受けさまざまな活動に取り組み、大きな成果を上げました。

その活動を白岡中学校の新しい伝統として継続していこうと、今年度は名称を新たに「それいけ！

白中白援隊」として取り組みを行っています。「白援隊」とは「自分たちで企画した奉仕活動や体験活動を地域のかたたちとともに行う白中生」



福祉施設で車イスを磨きながら高齢者のかたとおしゃべり

活動は夏休みを中心に行われ、すでに延べ500人以上の生徒が参加しています。

生徒会本部・整美・緑化委員会を中心とした「早朝クリーン作戦」では町の下水道課のかたと一緒に学校周辺の排水路沿いの除草作業を行いました。

また、白岡まつりには約90名の生徒が参加し、体育委員会を中心とした3年生は「ソーラン節」を披露しました。有志のボランティアが東・西児童館の「児童館まつり」や「お楽しみ会」のお手伝いを行い、子どもたちと触れ合いました。更に、図書委員会を中心としたメンバーが保育所や学童クラブの子どもたちに絵本の読み聞かせをしたり、福祉・保健委員が「光の里」を訪問してお年寄り



児童館まつりで小さな子どもと一緒におもちゃづくり

と交流を持ちました。2学期に入ってから、放送委員を中心としたボランティアメンバーが白岡駅前

で「赤い羽根共同募金」の呼びかけを行い、たくさんのかたにご協力をいただきました。今後も環境美化運動や白中バザーや全校での福祉体験を予定しています。

参加した生徒たちは「人と人とのつながり」のたいせつさや「やってよかった」という達成感を感じるなど多くのことを学びました。普段なかなか経験することができないよい経験ができたようで「またぜひ参加したい」という声が多く出されています。

—白岡の古道をゆく vol. 8—

### つかのこし 塚越の追分

ふるさと

## 白岡紀行

蓮田市と白岡町の市町境に程近い大字白岡の塚越の三叉路に高さ1.2m余りの石塔が南を向いて立っています。正面には邪鬼を踏みつ



塚越の三叉路に立つ庚申塔

けた青面金剛像しょうめんこんごうが浮き彫りにされ、その左側に「いわつき道」とあります。右側面には「右幸手道」、左側面には「左せうぶ道」と刻まれているのが読み取れます。蓮田市方面から歩いてきたその道が「いわつき道」であり、道なりに右へ進むと幸手方面へ、左へ進むと菖蒲方面へ続くことを教えてくれます。

道しるべにある「いわつき道」は、現在は県道白岡停車場・南新宿線と呼ばれ、JR白岡駅西口から小久喜地内を経て蓮田市南新宿から西へ向かい県道さいたま栗橋線に合流しますが、まっすぐ南下すると蓮田市黒浜地内を抜けて元荒川を渡りさいたま市岩槻区へ至ります。

この道を北上すると、白岡駅北側の踏切を渡ります。「岩槻街道踏切」という名称がこのことを裏付けています。その先は、前号でご紹介した上野田の交差点を経て日光御成道から幸手へ向かったか、寺塚から高岩地内を抜けて西桑原にしくもばらから日光御成道へ合流したものと思われます。



「右幸手道」の文字を読みとることができます。

道しるべから左へ進むと、白岡地内を抜け、「八幡の渡し」で元荒川を渡り、蓮田市貝塚を経て菖蒲へ向かいます。

岩槻と菖蒲はともにお城を中心に中世から栄えた町場ですし、幸手は日光街道沿いの物流の拠点として賑わいました。塚越の「追分」にある庚申塔は230年以上も、行き交う人の流れとともにありました。物資を載せた荷車はトラックに、旅人の姿は自動車に変わりましたが、これからもわたしたちを見守って欲しいものです。